

## 4. 目標の設定と進行管理

### 4.1 目標値の設定

防災指針の進捗状況や効果の発現状況を客観的、定量的に評価するため、評価指標及び目標値を設定します。評価指標は、本計画の施策・事業の実施により発生する効果・成果を表すアウトカム指標と、施策・事業の実施状況を表すアウトプット指標の観点から設定し、定期的な評価・進行管理を行うものとしします。

表 4-1 評価指標及び目標値

評価指標	基準値	目標値 <sup>※4</sup> 【令和20(2038)年】
日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ※1	43.7% 【令和3(2021)年】	60.7%
居住誘導区域外のハザードエリア内の人口／居住誘導区域内の人口	22.7% 【平成 27(2015)年 <sup>※5</sup> 】	14.2%以下
雨水幹線排水路の整備率 <sup>※2</sup>	61.4% 【令和3(2021)年】	69.3%
住宅の耐震化率 <sup>※3</sup>	84% 【令和3(2021)年】	95%以上

- ※1 令和3年度 市政に関するアンケート調査(日頃から災害に対する備えをしている)結果より。  
「3日分程度の食料・飲料水などを備蓄している」「家具などの転倒防止策をしている」「避難所を知っている」「避難指示などの災害情報の入手先(防災行政無線、佐野市防災・気象情報メールなど)を知っている」の4項目が含まれる。  
居住誘導区域にかかる地区(佐野、植野、界、犬伏、堀米、田沼南部、田沼、葛生)の居住者が、アンケートにおいて、各項目で「はい」と回答した割合の平均値により算出。
- ※2 佐野市国土強靱化地域計画重要業績指標(KPI)令和4年～令和7年より令和 20(2038)年を試算。  
整備済延長/計画総延長により算出。
- ※3 佐野市建築物耐震改修促進計画(三期計画)令和3年度～令和7年度より。  
耐震化をしている住宅の戸数/市内全戸数により算出。
- ※4 目標値については、本計画の上位計画において同じ指標により目標値を設定した場合は、上位計画との整合を図る。
- ※5 令和3(2021)年3月策定の立地適正化計画の目標値の基準年との整合を図るため、平成 27(2015)年を基準年としている。

## 4.2 進行管理

防災指針は、佐野市立地適正化計画の一部として、PDCA サイクルに基づき、計画の進行管理を行います。概ね5年ごとに、施策等の実施状況について検証するとともに、設定した評価指標や目標値等による進捗状況を評価します。その結果等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。また、今後は、防災・減災の取組への新技術やデジタル技術の活用も検討します。

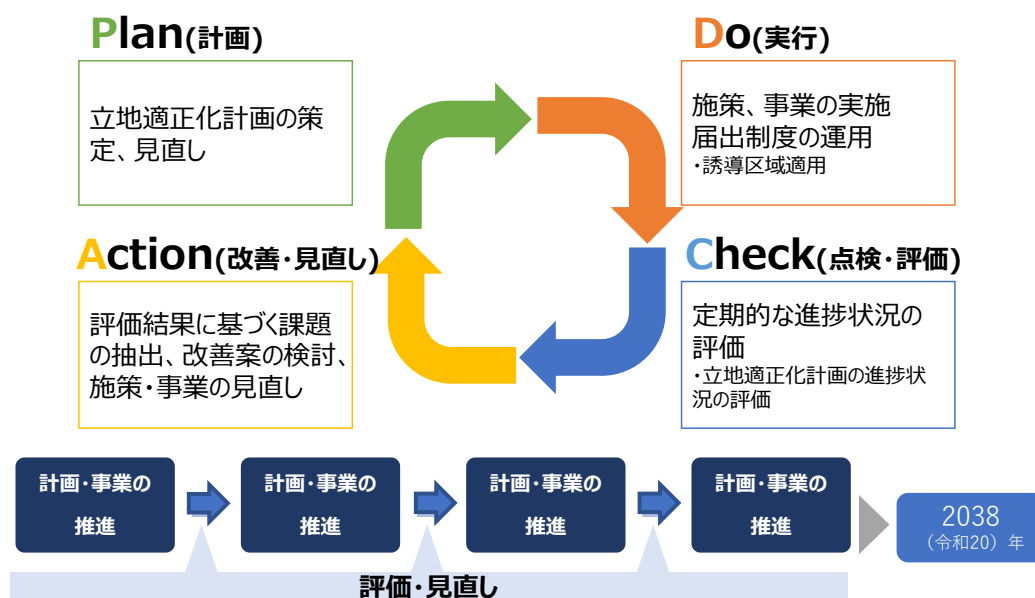


図 4-1 佐野市立地適正化計画の進行管理における PDCA サイクル

出典:佐野市立地適正化計画 本編